

# 広島市小社研会報

令和5年4月～令和5年7月 第268号

## 研究主題 社会をみつめ、未来を問い続ける社会科教育の創造 －教材の意味からせまる授業づくりを通して－

各校も夏休み入り、真夏日、気温が35度近い毎日が続いています。各校におかれましても、研修や作業など、日々忙しくされていることと思います。

今年度から、研究授業や研究協議会、事前研究会等をコロナ禍以前のように実施し、これまでの広島市小社研の財産を引き継ぎながら研究行事・事業計画に会員皆で取り組んでいきたいと思っています。

### 今年度のスタートにあたって

広島市小社研会長 吉島東小学校長 新田 典生

5月11日の第1回研究会総会行事において、ブロック会長、事務局長、研究部長、事務局次長をはじめ、ブロック代表世話係、幹事長、副幹事長、ブロック幹事長などの役割が決まり、令和5年度の研究体制が確立しました。この体制で、本年度の研究を推進していきたいと思っておりますので、ご協力よろしく申し上げます。

本年5月から、新型コロナウイルスが5類の扱いとなり、約3年半に及んだ新型コロナウイルス感染症への対応もようやく収まり、現在、各学校での教育活動もコロナ前の状況に戻りつつあります。学習指導要領の全面実施から3年がたちました。振り返ってみますと、3年前、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けてスタートを切った矢先でのコロナ禍でしたが、3密回避など、子ども同士の対話が困難な状況の中であっても、各校では、先生方が、どんな授業ができるかを模索し、一人一台端末を活用して、一人一人の思考をつなぐことで学び合いを成立させたり、研究授業では、中継を使って別室で参観したり、動画を活用したりと、様々な取り組みが考えられました。こうして知恵を出し合って取り組んできた実践の数々は、まさに、学習指導要領の改訂の基本的な考え方である「社会の変化は予測しがたいが、どのような状況にあっても、自ら考えて、判断して、行動できるようにすること」そのものでした。

新型コロナへの対応からは、「これまでに経験したことの無いもの」「答えが見つからないもの」であり、「予測困難な社会において、答えの無い問題に向き合うための力」を子どもたちに身に付けさせ、さらに伸ばしていくためにどうすればよいかをしっかりと考え、実践していかなければならないことを教えられたのではないのでしょうか。

さて、今年度の社会科部会は、コロナ禍で止まっていた、授業提案での研究を再開し

ます。研究の手引きに沿って、「広島の社会科」が育てる子どもの姿をもう一度確認するとともに、現代の社会に見られる諸課題の教材化、学習指導過程の工夫等の研究を行います。また、研究部を中心に、新しい研究主題を作成し、令和9年度に予定されている5度目となる広島の地での全国大会に向けて、研究を進めていきたいと考えています。先生方の真摯な取組が展開され、先生方の授業力の向上や子どもたちの主体的・対話的で深い学びが見られることを期待しています。

終わりになりますが、今年度も本研究会顧問広島大学大学院准教授永田忠道先生、渡邊 巧先生、広島市教育委員会指導主事石中伸弥先生をはじめ、多くの先生方にご指導をいただきながら研究会の更なる活性化を図っていきたいと思います。全国に発信していく「広島社会科」を目指して、ともに頑張っていきましょう。よろしくお願いいたします。

## 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について

### 広島市教育委員会 指導第一課 指導主事 石中 伸弥

(第1回研究会 総会において、今年より指導第一課 指導主事になられた石中 伸弥先生が指導講話で話された内容をまとめたものです。文責 吉武)  
社会科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について3つのテーマに分けて解説されました。その概略をご紹介します。

#### 1 社会科における学びの在り方

○「社会的な見方・考え方」を働かせた問題解決的な学習過程のイメージ

課題把握	動機付け	社会的事象を知り、気付きや疑問を出し合い、課題意識を醸成し、学習課題を設定する。
	方向付け	解決への見通しを持つために予想や仮説を立て、調査方法や追究方法を吟味し、学習計画を立てる。
課題追究	情報収集	様々な資料や学校外での観察や調査などを通して調べたり、他の児童と情報交換をしたりする。
	考察	情報を多面的・多角的に考察し、討論等を通して社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察する。
	構想	問題解決に向けて選択・判断する中で、社会に見られる課題を把握し、解決に向けての構想をする。
課題解決	まとめ	学習課題を振り返り、結論をまとめ、互いに伝え合ったり、レポートなどにまとめたりする。
新たな課題	振り返り	調べ方や結果を振り返ったり、学習成果を伝えたりする中で、新たな問いを見出し、さらに追及する。

#### 2 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくり

○「主体的な学び」

社会的事象と子どもたちをどのように出合わせるか、どのようなことを調べ、解決へと導いていくのかを整理し、どのような姿を目指すのかを教師側が明確に持ってお

くことが必要であり、それらの過程を教師主導でなく、児童自らが行えるよう、問いを用いながら主体的な学びの実現へつなげることが重要。

○「対話的な学び」

何のために、どのような目的をもって対話の場面を設定するのか、対話を通してどのような視点を持ったり、広げたりするのかといったことを教師側が練っておくことが重要。

○「深い学びの実現のために」

社会的事象を通して、子どもたちの「学びたい」「知りたい」といった興味・関心を生かして学びの場にのせ、社会全般における認識を主体的、対話的に広げることができるとして授業づくりを行う。

2 社会科の授業改善及び工夫

① 教材開発・教材研究

学習指導要領（内容）を踏まえ、単元構成をイメージしながら行っているか。

② ICT 端末の活用

ICT 端末は、目標の実現に向かって効果的に活用されているか。

ICT 端末の活用が目的になっていないか。

最後に、石中指導主事から、実践提案や授業参観の機会に互いに学び合いながら、社会科における「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、子どもたちだけでなく、先生方が「社会科っておもしろい」と思える実践を進めてもらいたいと話されました。

---

## 「社会科同好会」へのお誘い

社会科同好会長 山本小学校長 河野 隆

---

新型コロナウイルス感染症も5類に移行となり、市小教研社会科部会も4年ぶりに公開授業が再開となりました。社会科同好会においても、本年度、実践発表を中心に年3回の実施を計画しております。会場は、本年度より三篠公民館から西区民文化センターへ変更しました。駐車場もあり、アクセスもよくなりました。社会科の授業づくりに役立てていただきますよう、ぜひ奮ってご参加ください。

〔社会科同好会〕

○ 同好会について

社会科は、何より実践があつてこそその教科です。優れた実践や、苦勞して作り上げた実践などに触れ、意見交換することで、授業を作る力がついてくるのではないかと思います。毎回、貴重な実践例や指導案をもとに議論を交わしたり、永田先生の深くて分かりやすい指導・助言を伺ったりして、授業について考え、共に社会科の楽しさを味わうよい機会となっています。

- 会場 : 西区民文化センター
- 時間 : 19時00分～20時30分
- 講師 : 広島大学大学院  
准教授 永田 忠道 先生

○ 年間計画（予定）

- ・ 第1回 令和5年10月27日（金）  
 单元名 4年生「災害からくらしを守る」  
 発表者 広島市立五月が丘小学校  
 胤森 信吾 教諭
  
- ・ 第2回 令和5年12月15日（金）  
 单元名 未定  
 発表者 広島市立五日市小学校・広島大学大学院  
 山下 正範 教諭
  
- ・ 第3回 令和6年 2月 2日（金）  
 单元名 6年生「江戸幕府と政治の安定」  
 発表者 広島市立川内小学校  
 吉田 剛人 教諭

---

**「社会科授業づくり基礎講座」へのお誘い**

**「社会科授業づくり基礎講座」代表 安東小学校長 宗像 直子**

---

**「社会科授業づくり基礎講座」について**

いよいよ令和9年度には、社会科の全国大会が広島で開催されます。既に、本市の社会科部会では、全国大会に向けての準備が始まっています。全国大会では、本市の社会科に情熱を傾ける先生方の力が欠かせません。そこで、社会科部会では、社会科の授業づくりの基礎講座を実施し、若い先生方を中心に授業力向上の支援をしています。今年度は、第1回目を6月10日（土）に開催し、約20名もの先生方が参加されました。

社会科の授業を行う上で、困っておられることや授業づくりのポイント、教材研究の仕方等について分かりやすくお伝えする場となるよう、講座を計画しています。

また、本講座は、社会科部会の会員以外の方でもお気軽に参加できます。

○会場：広島市教育センター（東区牛田新町一丁目17-1 電話 223-3563）

○時間：10時30分～12時（土曜開館の日に行います。）

○年間計画

- ・ 第1回 令和5年 6月10日（土） 岡本教諭、米山教諭の実践紹介
- ・ 第2回 令和5年11月11日（土） 本講座担当者による実践紹介
- ・ 第3回 令和6年 1月13日（土） 帝国書院の方による講義など

安東小学校 (082)878-3629 宗像メールアドレス [munakata82@e.city.hiroshima.jp](mailto:munakata82@e.city.hiroshima.jp)

## 令和5年度 広島市小社研 役員一覧

会 長	新田 典生 (吉島東小)
事務局長	三好 崇之 (江波小)
研究部長	三好 崇之 (江波小)
事務局次長	吉武 哲 (長束小)
幹事長	岡本 典久 (伴小)
副幹事長	市位 和生 (矢野南小)
庶務幹事	寺本 美代子 (牛田新町小)      櫛川 尚 (井口明神小) 沼尻 理恵 (草津小)      中塩 聖香 (矢野小) 安本 顕馬 (大州小)      石原 隆弘 (石内北小)

		1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック
ブロック会長		平井 史郎 (中島小)	大和 千尋 (温品小)	樽谷 秀幸 (湯来南小)	宗像 直子 (安東小)
代表世話係		川口 和郷 (白島小)	原紺 政雄 (高南小)	佐渡 宏行 (河内小)	吉田 嗣教 (飯室小)
ブロック幹事長		大門 一幸 (阿戸小)	原田 裕 (倉掛小)	米津 高明 (井口小)	庄司 正史 (古市小)
学 年 代 表 幹 事	3年	山田 陽子 (竹屋小)	増田 ひかる (狩小川小)	望月 洋輔 (河内小)	河村 実来 (春日野小)
	4年	長崎 亮 (荒神町小)	/	米津 高明 (井口小)	米山 尚伸 (伴東小)
	5年	松崎 智子 (阿戸小)	/	榎並 悠介 (山田小)	櫻井 博志 (山本小)
	6年	亀谷 凌太 (似島学園小)	上田 元気 (高南小)	松本 幸大 (南観音小)	添田 健 (春日野小)

---

## 県・全国の行事

---

[県小社研関係]

- ① 県小社研夏期研修会（福山大会）福山市のみで開催
- ② 第60回広島県小学校社会科教育研究大会（福山大会）  
令和5年11月1日（水）福山市立東小学校

[全小社研関係]

- ① 第61回全国小学校社会科研究協議会研究大会東京大会  
令和5年11月9日（木）：浅草公会堂、10日（金）：都内4会場校

---

## 研究行事・事業計画

---

- 令和5年 5月11日（木） 第1回研究会総会・全体会
- 令和5年 8月18日（金） 市小社研夏季研修会
- 令和5年10月12日（木） 第2回研究会（ブロック別研究会）
- 令和6年 1月18日（木） 第3回研究会（ブロック別研究会）

【あしがき】

通常の形式での総会、代表幹事会が戻ってきました。ブロック別研究会は、公開授業、実践発表、録画授業と、研究会の時期にとらわれない形での実践が予定されています。第2、3回の教科研究会の授業提案の数は少ないですが、多くの会員に参加していただき、意見を交換して、授業者、参観者両方の授業力が向上することを願っています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のために、広島市小社研の取り組みが行えなかった時期を経験し、これまでに築き上げてきた諸先輩方、先生方の力の大きさを改めて感じています。広島市小社研がこれまで大事にしてきた「人間の生き方に学び、考える社会科」をより充実させ、令和9年度の全国大会の準備を進めていきましょう。

広島市小社研事務局次長 吉武 哲